

VSPを通じた『ばらのまちづくり福山』の取り組み支援

令和6年度
事業概要

一般国道2号沿線の植樹帯では、ばらの植樹が可能な箇所について、より一層の地域住民への働きかけを進めます。



VSP（ボランティア・サポート・プログラム）とは、道路を慈しみ、住民の方（実施団体）に道路を我が子のように面倒を見て頂くという考え方に基づく、道路の環境美化プログラムです。

住民の方（実施団体）は、プログラムで指定されている道路の一区画を、国土交通省（道路管理者）と協定を締結することで、道路の一区画と養子縁組を結んだこととなり、その区域を我が子のように責任を持って面倒を見て頂くこととなります。

現在、全国で2,000以上の団体が活動されています。

【VSPでの取組状況】

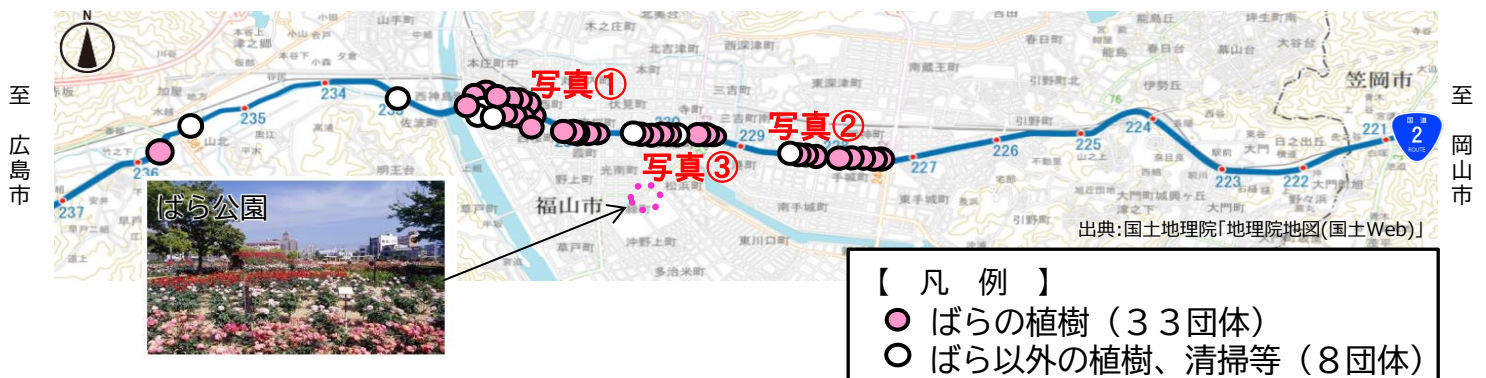
○概要

- 令和6年4月1日時点、事務所全体で、43団体（福山市内41団体+三原市内2団体）が登録。福山市内のVSP登録団体（41団体）の内、33団体がばらの植樹で登録。

○支援内容等

- 福山市のばら植樹支援事業を前提に、ばらの植樹が可能なVSP空白地帯などについて、地元・店舗等へばらの苗木提供をきっかけとしたVSP登録・活動の働きかけを福山市と共に実施します。

【福山市内における「VSP登録」状況等（令和6年4月1日時点）】



【取組状況写真】



写真①：南本庄地内（上り）



写真②：明神町地内（上り）



写真③：昭和町地内（下り）